賢い消費者になるために

キャンセルしたのに・・・

「インターネット通販で服を注文して、支払いは代金引き換えにした。サイトの不自然な日本語表記が気になり、規約に『注文後12時間以内はキャンセル可』とあるのでキャンセルした。キャンセル完了通知も届いたが、３週間後に『商品を発送しました』とメールが来た」との相談が多くあります。

業者にキャンセル完了通知を添付して「キャンセル済み」とメールを送り、その後、配達されても、送り主を記録してから受け取りを拒否しましょう。こういう場合に備えて、キャンセルの証拠は保存しておくことを忘れずに。

●問い合わせ　消費生活センター（本庁舎１階　☎36-8832）、または消費者ホットライン188（いやや！）へ

まつもと市民生きいき活動 No.56

このまちを　きれいにしよう

松原地区では、中央・東・南・北の４つの公園や松原モール等の草刈りや落ち葉拾い、枝払いなどの清掃を行っている公園清掃ボランティアの皆さんが活動しています。10年ほど前、公園にゴミが散らかっている様子が気になったことをきっかけに始めたそうです。

草がグングン伸びる時期には声を掛け合って月２～３回、それ以外は、気になった時に気になった人が、それぞれ都合がつく範囲で活動しているそうです。

「地区をきれいにしたい、放っておけない」「外に出て、みんなと会って、気分転換にもなるし、いろんな立場、仕事の人が集まってるから、それぞれの経験が活かされて面白いよ」と、代表の廣田紘治さんは話してくださいました。

●問い合わせ　教育政策課（☎33-3980 FAX33-3934）

医療メモ ＃375

認知症の方との接し方

認知症の主な原因疾患は、全認知症の約半数を占めるアルツハイマー病で、その有病率は加齢と共に上昇していきます。高齢化が急激に進みつつあるこの頃では、身近に認知症の方がいらっしゃるかもしれません。今回は認知症の方とどう接したら良いかお話ししたいと思います。

認知症の主な症状として、「もの忘れ」があります。健常な方でももの忘れはしますが、認知症の方は新しいことが覚えられず、今言ったこと、今したことをすぐに忘れてしまいます。

そのため、何回も同じことを話したり、ご飯を食べた後なのに「ご飯はまだ?」と聞いてきたり、自分で片付けたものを見つけられなかったりします。

そんな時に「何回も聞いた」「さっき食べたでしょ」「置き忘れたんでしょ」などと叱られると、自分の話を聞いてくれない、ご飯を食べさせてくれない、自分のものが盗まれ隠されたと思い込んでしまうかもしれません。まず話をよく聞くこと、それから認知症の方が言ったことを否定しないで対応することが大切です。

例えば、「ご飯はこれから用意するからね」「果物でも食べてもう少し待っていてね」「財布がないの？それは大変、一緒に探しましょう」などというのはどうでしょう。

しっかりしていた方が認知症を患えば、ご家族も落ち込んだり、不安になったりすると思います。いらいらして穏やかな対応ができないこともあるでしょう。

ご家族だけで抱え込まずに、医療機関や地域包括支援センターなどの専門機関に相談することも大切です。

●松本市医師会（http://www.matsu-med.or.jp）